

永井砂防ダム



1971

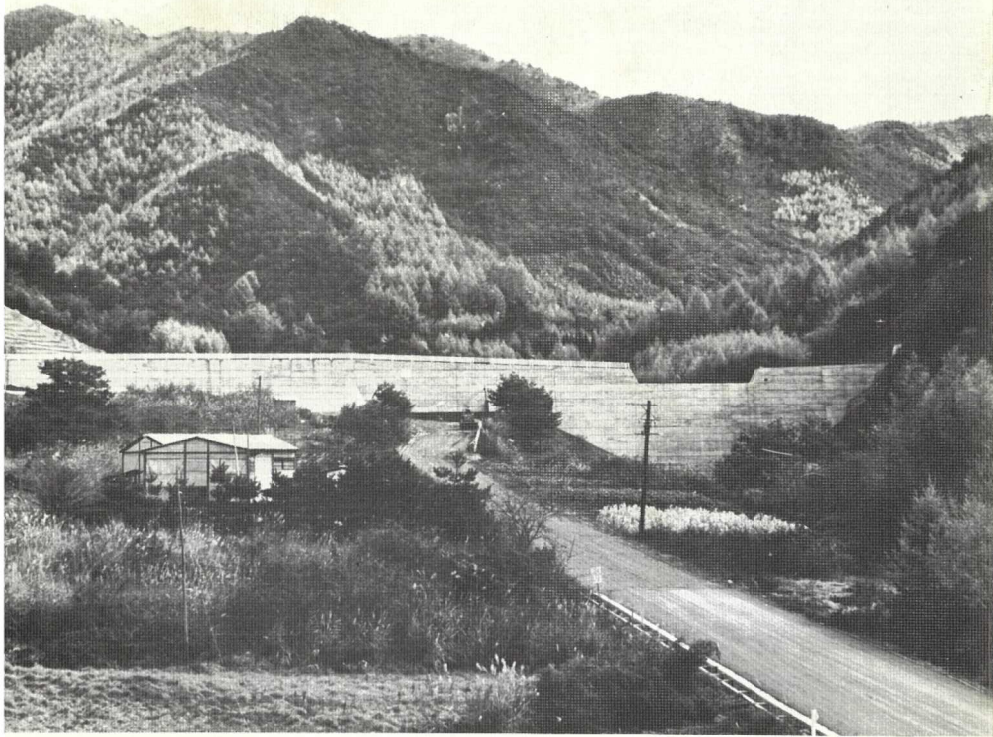
長野県土木部
犀川砂防事務所

永井砂防ダムの概要

永井川は、冠着山（おばすて山1252m）、四十八曲峠、八頭山、大林山（1353m）を連ねる分水嶺に水源を發し、下流は麻績川となる急流河川で、流域の地形は早壮年期を示し急峻かつ狹隘である。流域の地質は第三紀中新世の麻績累層で、砂岩、礫岩、凝灰岩よりなり表層近くは風化度も高く、降雨時の土砂流出が多く過去幾たびか災害を起こしている。特に昭和33年同34年の連年にわたる災害には下流麻績川に多量の土砂を流出し、人命を失い、人家耕地に多大の損害を与えた。当ダムは地域住民が永年待望したもので大きな期待がもたれている。

なお、当ダムは下流一帯の早ばつ地帯への豊かな水の供給源となり、またダムサイト附近は伝説で名高い「おばすて山」が間近く、近年別荘地として開発されてきた「聖高原」とも相対して位置する好適地で、高原観光ルートの道路も計画されており、湖面利用の冬期スケートリンクとも併せて、多目的にも活用され、地域開発への寄与は、極めて大きいものと期待されている。

永井砂防ダム完成全景



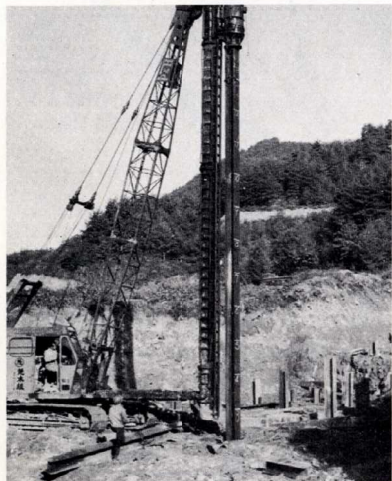
ダム位置図



$S = 1 / 200,000$

基礎処理工

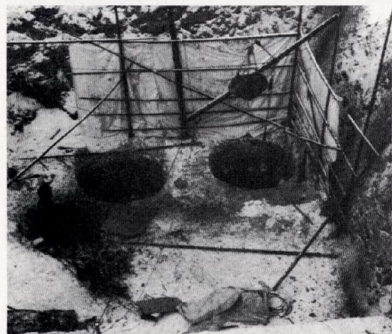
H 鋼杭打工



コンソリ,及コンタクトグラウト工



深 礎 工



$\Phi = 3.0\text{ m}$ $\ell = 9.0\text{ m}$ 及 10.0 m

カーテングラウト工



昭和34年伊勢湾台風災害



ダム諸元

- 河川名 信濃川水系尾川支麻績川小支永井川
- ダムの位置 長野県東筑摩郡坂井村字永井
- ダム計画の諸元

流域面積	3.0km ²	現況河床勾配	1/9
最大時雨量	60mm	計画河床勾配	1/27
流出係数	0.90	計画堆砂量	79,700m ³
土砂混入率	20%	有効貯水量	29,700m ³
比流量	18.0	湛水面積	10,000m ²

4. ダムの概要

- 型式 コンクリート重力式
- 主要部寸法

各部	工種	本ダム	副ダム	側壁水叩部		摘要
				側壁	水叩	
堤長		159.80M	46.50M	23.38M	22.30M	
堤高		19.00	6.50	5.90	1.50	
天巾		2.50	2.50	0.50	21.30	
底巾		18.65	4.45	2.27	20.40	
立積		20,132.6m ³	991.7m ³	1,058.5m ³		≒V=22,182.8m ³

5. 事業費 (自昭. 42~至昭. 45)

本工事費	附帯工事費	用地補償費	測量試験費	合計
313,166千円	1,034千円	2,020千円	4,653千円	320,873千円

6. 事業効果

耕地安定	かんがい面積	人家	道路	橋梁
123.0ha	30 ha	200戸	3,000 m	3

ダム計画図

$$S = 1/1,000$$

